

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成30年4月9日

木曽地域振興局

提出区分	実績						
整理番号	10	課題区分	A				
実施機関	木曽地域振興局			担当課	所属	林務課	
事業名	木曽管内木材需要動向調査事業				電話	0264-25-2225	
				E-mail	kisochi-rimmu@pref.nagano.lg.jp		
事業概要等	目的 (目指す姿)	林業、木材加工業の高付加価値化を推進し、産業としての林業振興を図る。					
	現状と課題	・木曽地域は総面積の93%を森林が占めている。天然の木曽ヒノキが希少となる一方、高品質な人工林のヒノキやサワラ、カラマツなどの蓄材が増えつつある。 ・後継者不足などから、木を活かした伝統工芸技術の継承に課題が生じている。 ・製品の出荷量や出荷先の現状が把握されていない。					
	内容 (変更後の内容)	木曽管内の木工芸品製作会社を対象にしたアンケート方式の木材需要動向調査を実施し、データ分析を行う。					
	事業期間	平成30年1月9日			～	平成30年3月31日	
	成果目標	課題を把握し、解決に向けた取組を行うことによる製材業の製品出荷量の増加					
事業費等	事業費	864,000 円					(単位:円)
	節区分	主な内容	当初計画額 a	最終計画額 b	実績額 c	差引 b-c	備考
	13	調査・分析委託料	1,000,000	864,000	864,000	0	
						0	
						0	
						0	
						0	
計		1,000,000	864,000	864,000	0		
事業実績・成果	事業実績	管内の木工芸品を取り扱う78社にアンケートを送付し、その内容を集計・分析し以下のとおり取りまとめた。 1、木曽地域の木材産業(概要・町村の計画等) 2、木曽管内木材需要動向調査(アンケート結果) 3、調査結果の考察 4、木曽地域の木材産業の展望			事業の成果		評価
					把握されたいなかった①経営形態 ②経営の現状・課題 ③木材の使用量 ④木工製品等の販売先 ⑤海外への出荷状況 ⑥事業者の要望する今後の取組み などについての現状が把握され、具体的な課題も明らかになった。		<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下
今後の方向性	平成30年度から木曽地域の重点政策として取り組む、「林業・木材加工業の高付加価値化」についての方向性がより明らかになったことで、業界内での情報共有や外部に向けての情報発信などの取組みに反映させる。						